

ねんりんピックに参加して

参加種目 水泳 内藤 文子

「ねんりんピック愛顔のえひめ 2023」をスローガンに第 35 回全国健康福祉祭が愛媛県で開催されました。

10 月 27 日意気揚々と岩手を出発した我ら水泳チームは、その夜の結団式と夕食会に臨み岩手選手団の健闘を祈り、明日からの競技等にしっかり臨もうと決意したのです。

28 日は総合開会式です。素晴らしい秋晴れの下、岩手の団旗を先頭に卓球選手、テニス選手、水泳選手が岩手を代表して入場行進をしました。その後行われたアトラクションは「村上海賊」の登場に始まり近代の「坊ちゃん」「坂の上の雲」が取り上げられ、歴史の紹介、近年の「俳句甲子園」「書道パフォーマンス」と、愛媛県民のみなさんの趣向が凝らされた催し物も多く、いたく感動しました。

そして肅々と行われた式典は、親しみやもてなしの心を多いに感じる事ができた開会式でした。

さあ 29 日 30 日は我々の水泳交流大会の当日です。本番なのです。「頑張らなきゃー」と自分に気合いを入れたのですが、全国から集われた選手のみなさんの力強い泳ぎに圧倒されっぱなしでした。私の成績は 50m 背泳ぎ 8 位、25m バタフライ 13 位と、参加賞レベルの結果に終わりました。

夫に勧められて始めた水泳を 12 年間続けてきた私は現在 73 歳ですが、まだまだ未熟だと思い知らされました。全国には若々しくパワー溢れる年配のみなさんがこんなにたくさんおられるのだと感動しました。

参加されたみなさんとは、世間話に始まり日々の練習の様子など語り合い、年齢では計れないその人その人の生き方に感銘を受けました。そしてお仲間の大切さも再認識した大会でした。

私も地元の水泳仲間といつまでも元気に楽しく泳ぎ続け、心身ともに健康な日々を送りたいものだと思いました。

水泳会場でテキパキと行き届いたお世話をしてくださったスタッフの皆様に感謝感謝です。最後に松山城、松山の街を観光し、道後の湯につかり満喫した松手を後に帰路に着きました。

水泳競技の開催地である松山市にちなんで俳句らしきものを詠んでみました。

天高し伊予に集まる笑顔あり

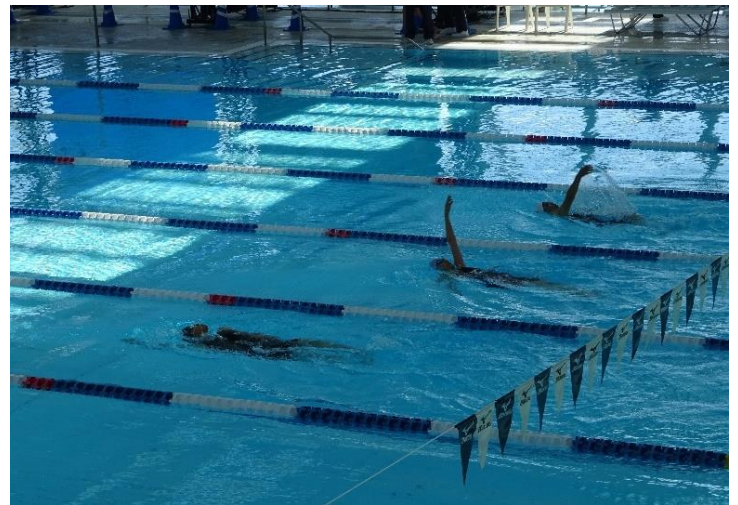
秋日和水を得た魚泳ぎおり

乾杯と銀メダルと満月と (10 月 29 日岩手の水泳選手西川勝夫氏 50m 自由形全国 2 位入賞)



○水泳選手全員の集合写真
(女子右から2人目)

○競技写真 (4コース (真ん中))
(女子 50m背泳ぎ 70~74歳の部)



○内藤選手入場の様子

※事務局が撮影した写真